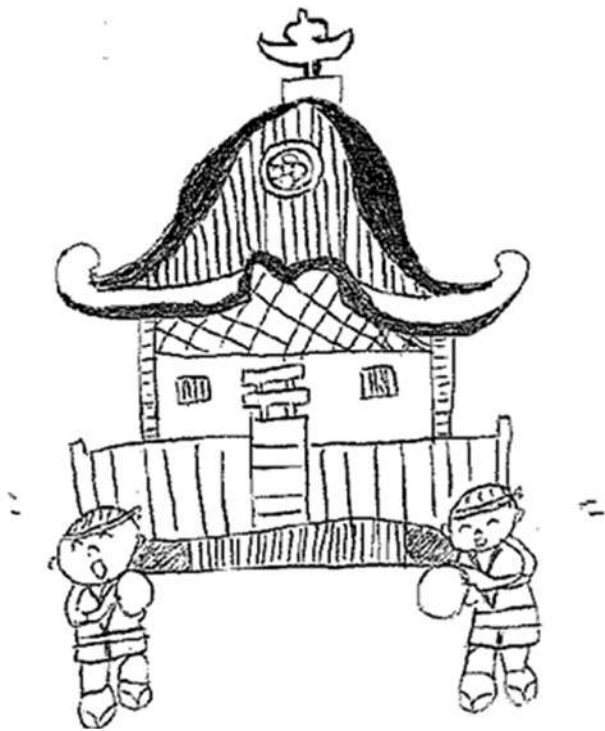
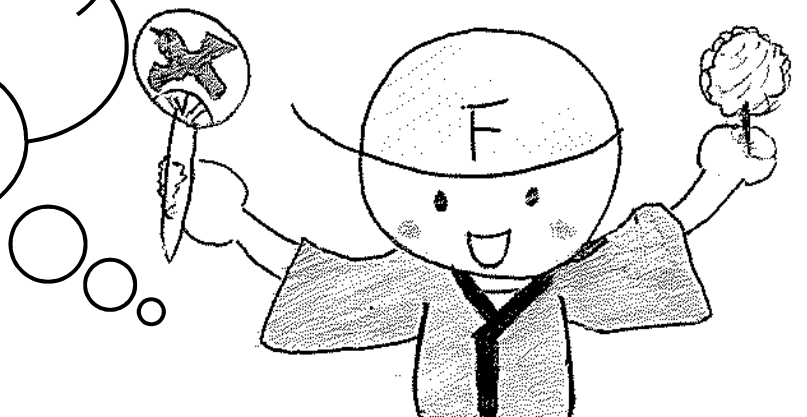


おおくにたまじんじゃ まつ  
大國魂神社の祭り1



こんかい はる なつ  
今回は春から夏の  
はじめまでのお祭りを  
しょうかい  
紹介するよ



# おおくにたまじんじゃ 大國魂神社

「大國魂神社」は、そのむかし武蔵国を開いたといわれる大國魂大神を武蔵国の守り神としてお祀りした神社です。「大國魂神社」ができたのは、今から約1900年前の景行天皇41(111)年5月5日だったといわれています。本殿は昭和37(1962)年に東京都指定有形文化財(建造物)に指定され、参道である馬場大門のケヤキ並木は大正13(1924)年に国指定天然記念物に指定されています。また、境内にある宝物殿には、昭和24(1949)年に国指定重要文化財に指定された『木造狛犬』をはじめ、色々な文化財が収められています。

「大國魂神社」の神事\*1などは、武蔵国造という地方役人が代々行っていたといわれています。その後、国府\*2が府中に置かれ、役人である国司\*3が都から府中に派遣されると、「大國魂神社」は武蔵国の神事を執り行う神社になりました。

\*1  
神事とは？  
かみさま まつ ぎしき ぎょうじ  
神様を祀る儀式や行事  
のことです。  
\*2、\*3  
国府、国司とは？  
こども府中はかせ第5  
号を見てみてね。

武蔵国にあるたくさんの神社を回って、神事や参拝などをする  
ことも国司の大事な仕事でした。しかし、全ての神社を回るとは難しいので、武蔵国に  
あった神社の神様が「大國魂神社」でいっしょに祀るようになったといわれています。こ  
のため『武蔵総社』と呼ばれるようになります。これが『武蔵総社大國魂神社』の始まりで  
す。

その後、武蔵国の大きな6つの神社、小野神社(一ノ宮 東京都多摩市)、小河神社(二ノ宮  
東京都あきる野市)、氷川神社(三ノ宮 埼玉県さいたま市)、秩父神社(四ノ宮 埼玉県  
秩父市)、金鑽神社(五ノ宮 埼玉県児玉郡)、杉山神社(六ノ宮 神奈川県横浜市)の神様

が「大國魂神社」の神様といっしょに祀られるようになったので、『六所宮』、『六所明神』

とも呼ばれていました。武蔵国の総社になったこと、武蔵国の大きな6つの神社の神様が

祀られていることから『武蔵総社六所宮』を神社の

名前としていたこともありましたが、現在ではもと

の名前である『大國魂神社』となっています。



## まつり くらやみ祭

大國魂神社の例大祭\*4は、府中に国府があった頃に行われ

ていた武蔵国の「国府祭」が始まりだといわれています。むか

しは貴い神様を見ないようにまちの明かりを消した暗闇の

中、深夜に神輿渡御が行われていたので「くらやみ祭」と呼ばれています。

「くらやみ祭」は夕盛りとも呼ばれる4月30日の『品川

海上袷袂式』\*5という神事から始まります。

その後、5月1日の『祈晴祭』、5月2日の『御鏡磨式』、5月

3日の『雛子の競演』と続きます。そして、5月3日の夜に

は旧甲州街道（御旅所\*6前から大鳥居前まで）を6頭の馬が3往復する『競馬式』が行

われます。5月4日になると『御綱祭』、『子供神輿連合渡御』、『万燈大会』などが行われ、

\*4

例大祭とは？

毎年きまった日に行う神社の祭りの中で、最も重要な祭礼です。

\*5

品川海上袷袂式とは？

4月30日の朝早く、大國魂神社の神職たちが品川区の荏原神社に行き、舟で海上に出て潮水で身を清め、潮水をくみ取ってくる神事のことです。

夕方には日本最大級の太鼓が大鳥居前に揃う『太鼓の響宴』が行われます。これが終

わると、24台の山車がお囃子をしながら巡行する『山車行列\*7』が始まります。5月5

日は大國魂神社で行われる年中行事の中で一番重要な祭儀である『例祭』から始まりま

す。その後、『太鼓送り込み』や『御饌催促の儀』などが行われ、夕方になって花火の合図

で6張の大太鼓が打ち鳴らされると、「おいで」とも呼ばれている『神輿渡御』が始まりま

す。その後、『坪宮奉幣』などの神事が続き、大國魂の神様

についての伝説に由来する『野口飯屋の儀』、御旅所前

『流鏝馬式』が行われます。翌5月6日の早朝、8基の

神輿は御旅所を出て、御先払太鼓に導かれて各町内を巡

った後に神社に還る『神輿環御(おかえり)』が行われます。

8基すべての神輿が神社に揃ったら『鎮座祭』が行われ、

「くらやみ祭」は終わります。

「くらやみ祭」の中心神事は、5月5日に行われる『神

輿渡御』です。まずはじめに、大太鼓が出てきて神輿を先導

します。次に一ノ宮から六ノ宮までの神輿6基、その後大

國魂の神様を祀った御本社神輿、そして最後に御霊大神を

祀った御霊宮神輿が出てきます。むかしは大國魂神社にいっしょに祀られている一ノ宮か

ら六ノ宮までの6つの神社の神輿が、武蔵国の各地から実際に府中まで集まって来ていた

といわれています。

「くらやみ祭」は戦争の影響で昭和20(1945)年に中止されますが、戦後には再び

\* 6

御旅所とは？

大國魂神社のご祭神である大國魂大神を祀る御本社と、武蔵国内にある一之宮から六之宮、そして御霊大神を祀る御霊宮の計8基の神輿が、たくさんのかつぎ手たちによってかつがれた後、仮にとどまる所としてここに納められます。

\* 7

山車行列とは？

神様が乗り移るための飾りをのせた車を引いて、お囃子しながら町内を歩くことです。

おこな  
行われるようになり、平成22(2010)年3月には東京都指定無形民俗文化財(風俗慣  
しゅう  
習)となりました。



## おおはらえしき 大祓式

「大祓式」は、毎年6月30日と12月31日に行われます。これは知らず知らずの

間に心身についた穢れを祓い清めるための行事です。暑い夏

を迎える前の6月には「夏越の祓」を、新しい年を迎える

前の12月には「年越しの祓」を行います。まず、神職や

巫女、氏子\*8や参拝者が、切麻という細かく切った麻と小さ

な白い紙を混ぜたものを体にふりかけて祓います。次に紙の

人形に息を吹きかけたりなでたりして自分の穢れを移し、そ

れを川に流し、祓い清めます。以前は是政の多摩川に流して

いましたが、今は境内の小川を使っています。また、「夏越の

祓」の時にだけ茅の輪くぐりが行われます。茅の輪という

茅\*9を束ねて作られた大きな輪が中雀門前に置かれ、これ

を8の字にくぐることで、病気などから身を守るといわれて

います。

\*8

氏子とは？

ももとは、同じ祖先や同じ

職業の人々が信仰した神様

を「氏神」といい、時代が進

むにつれて土地を守る神様

「産土神」も同じように「氏

神」として祀るようになり、

氏神の加護を受ける地元の人

のことを「氏子」といいまし

た。現在ではその地域に住

み、土地の恵みに感謝して氏

神を祀るためのお祭りに関係

する人々のことをいいます。

\*9

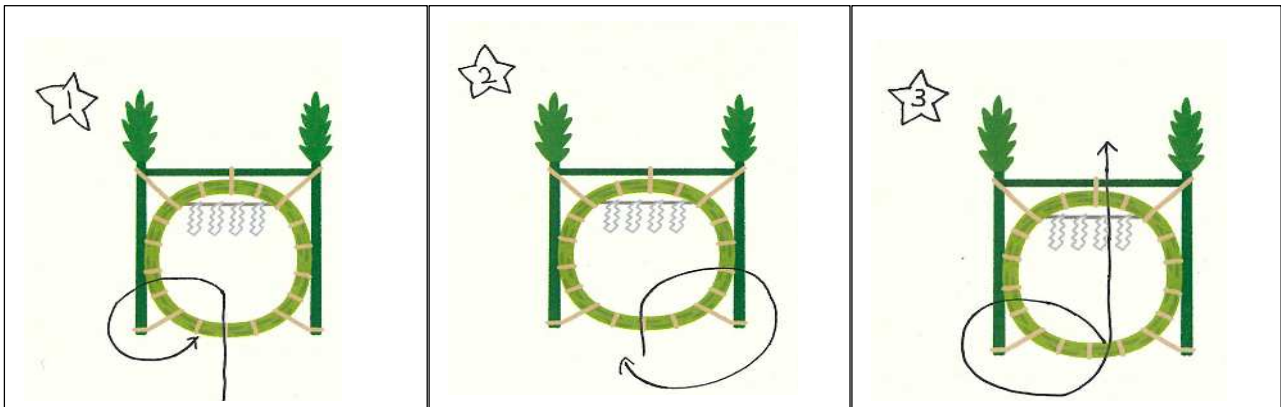
茅とは？

屋根を葺く(おおって作る)

ために使う草木の総称で、

スゲやススキなどです。

ちわ  
茅の輪くぐり



まつり  
すもも祭

毎年7月20日に行われる「すもも祭」は、五穀豊穰（穀物などの農作物が豊かに実ること）、悪疫防除（病から身を守る）のための祭りです。当日はすももを売る店や、からす団扇、からす扇子が並びます。「すもも祭」でからす団扇を見かけるようになったのは、江戸時代の終わり頃といわれています。

すももは、むかしから悪鬼と呼ばれる化け物を祓う果物とされて、からすは、わが国では古くから神の意志を伝える不思議な力を持つ鳥として大切にされてきました。

平安時代の中頃、永承6（1051）年に源頼義と義家の父子が、京都から今の東北地方にあった奥州の安倍氏との戦いにでかけました。その途中、大國魂神社に立ちよって、戦に勝つことを祈願しました。頼義父子は、安倍氏との戦に勝ち、お礼として神前

に粟飯とすももを供えました。その後、境内にすもも市がたつようになりました。それが「すもも祭」の由来といわれています。

この祭りの頃は、田や畑では害虫や雑草の被害がではじめる時期です。言い伝えによると、歳神様\*10から、農作物の害虫を除き身に振りかかるいろいろな災難を祓う方法として、「からすの扇を以って扇げ」と教えられたとされています。このことから、からすを描いた団扇・扇子がつけられました。

からす団扇やからす扇子であおぐと、田や畑の害虫はみんな退治され、米や麦、豆などがたくさん収穫でき、病気もなおるともいわれています。夏がすぎた後は、厄災や悪いことが家にはいってこないよう、厄除けのため団扇や扇子を玄関に飾るようになりました。

\*10

としがみさま  
歳神様とは？

その年の福德をつかさどる神様で、正月に各家に迎えて祀ります。この神のいるほう角を明の方、または恵方といい、すべてのことに吉といわれています。

おおくにたまじんじや  
大國魂神社では、お守り袋にも

からすの刺繍があるよ



これが、  
からす団扇だよ



# もっと知りたくなったら読む本のリスト

しよめい ほん なまえ 書名(本の名前)	ちよしゃ ほん か ひと 著者(本を書いた人)	しゅっぱんねん 出版年	ほん せ 本の背ラベル
おおくにたまじんじゃ さいじ き 大國魂神社の歳時記	おおくにたまじんじゃ かんしゅう 大國魂神社 / 監修 さくらのいぶあ ぶん 桜井信夫 / 文	2002	F17/サ
じんじゃ てら じてん 神社とお寺がわかる事典	いのうえともかつ かんしゅう 井上智勝 / 監修	2009	17/ジ
むさしそウしゃおおくにたまじんじゃたいさいし 武蔵總社大國魂神社大祭史		2013	F175/10/ム
むさしふちゅうものがたり じょう 武蔵府中物語 上	さわたりもりふみ ちよ 猿渡盛文 / 著	1963	F213/10/サ
え しゃかいがじてん ねんじゅうぎょうじ まつ 絵でわかる社会科事典 4 年中行事・祭り	かまたかずひろ かんしゅう 鎌田和宏 / 監修	2013	36/エ
くらやみ まつり てんじかいせつ くらやみ祭 展示解説シート	ふちゅうしきょうど もりはくぶつかん へん 府中市郷土の森博物館 / 編	2008	F38/ク
むさしふちゅう まつり 武蔵府中くらやみ祭	ふちゅうきょうど もりはくぶつかん 府中郷土の森博物館	2004	F38/ム
くらやみ まつり くらやみ祭	さわたりもりふみ ぶん 猿渡盛文 / 文 あやべよしお え 綾部好男 / 絵	1998	F38/サ
むさしふちゅう びんぞく 武蔵府中の民俗	きたのあきら ちよ 北野晃 / 著	1988	F380/10/キ
47 とどうふけん でんとうぎょうじひゃっか 47 都道府県・伝統行事百科	かんざきのりたけ ちよ 神崎宣武 / 著	2012	386/カ
カラスの だいけんきゅう カラスの大研究	くにまつとしひで ぶん 国松俊英 / 文 せきぐち え 関口シュン / 絵	2000	F386/10/ク

大國魂神社ホームページ <https://www.ookunitamajinja.or.jp/>

さがしている本がみつからないときは、図書館のひとにきいてみよう。



バックナンバー：図書館ホームページ 子どものページ 府中について知る

「大國魂神社の祭り1」こども府中はかせ No.7

2018年4月発行

府中市立図書館 編集・発行

<http://library.city.fuchu.tokyo.jp/>